



Tadaima, Okaeri  
POE BACKS

Presented by Ichi Ichikawa

いちかわ壱





お た  
か だ  
え い  
り ま、

い  
ち  
か  
わ  
壱

Tadaima,  
Okaeri  
Presented by  
Ichi Ichikawa







## Contents



009

第1話



037

第2話



065

第3話



083

第4話



115

第5話



145

第6話



179

描き下し お久しぶりです、また会う日まで



# \* オメガベースとは？ \*

ボーヴィス・ラブ

歐米で発祥したBLにおける特殊な設定です。もともとはSF作品のパロディ、いわゆる二次創作にもちいられていきました。SF作品に登場する人狼（オオカミ男）の恋愛を描こうとした際に実際のオオカミの生態を参考にしたことでの $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\Omega$ の三つの存在の仕分けが登場したようです。その後は階級制度に男尊女卑や人種差別などの社会風刺的な要素が加わっていきます。オメガベースは描き手の解釈によって様々なアレンジが加えられ今では無数のバージョンが出回っています。最初の発案者が不明である事により、正しい設定という考え方には基本的にはありません。この自由度の高さがオメガベースの魅力の一つ。

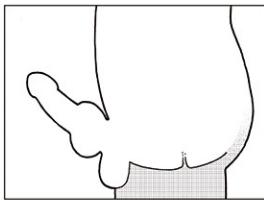
とはいっても、読み手にとっては各作者の世界観を一から確認して読み進めるというのは敷居が高く感じるものですね。そこでオメガベースをもっと気軽に多くの人に楽しんで貰おうと発足したのが【オメガベース・プロジェクト】です。BLに新たな驚きを、そして胸が高鳴る無限の可能性を目指して【オメガベース・プロジェクト】は独自の設定を組みました。本書における全ての作品はこの世界観をもとに構成されています。

※オメガベースの“ベース”とは誕生という意味に誤解されがちだが、実際にはユニバース（宇宙）のベースからきており、日本においてはこの表現はパロディ作品におけるパラレルやif設定に該当する。

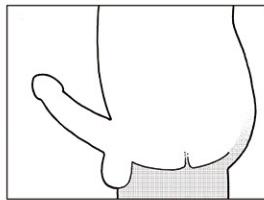
## \* 全員が妊娠できる世界 \*

太古の昔、人類には女性と男性の二つの性がありました。しかし急激な人口の衰えを前に人は新たな進化を遂げます。男女という違いは形だけの名残りを残して全ての人間が妊娠できるようになりました。男型には肛門から子宮に繋がる器官があり、女型は興奮するとクリトリスがペニス状に勃起して射精する事ができます。

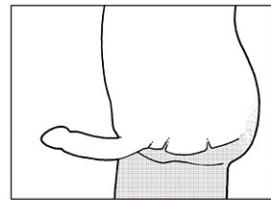
〈 $\alpha$  男型〉



〈 $\beta$ 、 $\Omega$  男型〉



〈 $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\Omega$  女型〉



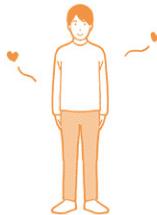
ペニスの根元に亀頭球と呼ばれる器官を持つ。これは“ヒート”と呼ばれる突発的な発情を迎えた時のみ、射精時に瘤状に肥大化して相手の性器からペニスが抜けない役割を果たす。ヒート時の射精は20～30分続き、精液の量は約20ml（ $\beta$ や $\Omega$ の平均が2ml）で受精率は100%。通常の状態でも精液は10mlと $\beta$ や $\Omega$ よりも多い。

## \* $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\Omega$ のちがい \*

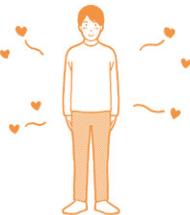
- ・男型は唯一“亀頭球”を持っている
- ・“ヒート”という突発的な発情期がある
- ・ヒート中の射精は20～30分続く
- ・ヒート中の妊娠率は100%
- ・射精の際の精液の量が最も多い
- ・階級分化フェロモンを持っている
- ・発情期がない
- ・ $\Omega$ の発情期に対して、ムラムラはするが理性での制御が可能
- ・発情期の周期は1ヶ月／1回、約7日間
- ・発情期以外での妊娠は極めて少ない
- ・性フェロモンを持っている

# \* 発情期とは？ \*

〈オメガ〉



Ωの身体からはオメガホルモンから生成される性フェロモンが汗などの体液に混じって分泌されています。この性フェロモンの分泌は $\alpha$ や $\beta$ にはありません。その為、この性フェロモンは通称“Ωフェロモン”と呼ばれています。



Ωは1ヶ月のうち3週間をかけて、大量のオメガホルモンを体内に蓄積します。発情期がやってくると、大量に蓄積したオメガホルモンから性フェロモンを生成して大放出します。このΩフェロモンの大放出は約7日間程度続きます。これは元々妊娠の確率が高いΩが高い生殖力を持つ $\alpha$ を誘惑する為に発達した特性だと考えられています。

〈アルファ〉



Ωフェロモンに反応して“ヒート”という突発的な発情期を催します。一度ヒートに入ると理性が飛び、暴力的になってしまいます。

※初めての発情期がおとずれるのは一般的には12~18才です。(αのヒートも同様)

## \* $\alpha$ と Ω だけに起きる“番”的システム \*

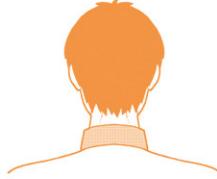
$\alpha$  と Ω の発情期中のセックスで  $\alpha$  が Ω のうなじ付近を噛むとその二人は“番”になります。番になった場合、 $\alpha$  には変化が起きませんが Ω は発情期中は番となった  $\alpha$  に限定したセックスしかできなくなります。他の人間とセックスをすると目眩、頭痛、吐き気に襲われます。原則として番は解消できません。



〈 $\alpha$  に噛まれる Ω〉



番になるために噛まれた場合、その歯形はずっと残ります。



望まない相手と番になってしまわないように、首輪で自衛するΩもいます。

### 魂の番

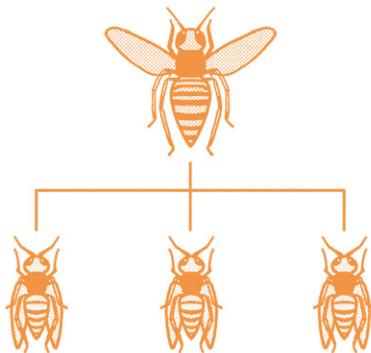
$\alpha$  と Ω がお互いのフェロモンに(発情とは関係なく)、惹かれることがあります。

その相手とは一目見た瞬間に感じ合い、必ず相思相愛状態になります。

しかしこれはとても稀なケースであり、都市伝説ではないかと言われています。

## \* 番のメカニズム \*

$\alpha$ は発情期中に $\Omega$ の“うなじを噛む”という行為をトリガーとして、階級分化フェロモンを番となった $\Omega$ に発するようになります。結果として $\Omega$ は発情期中に番になった $\alpha$ としかセックスが受け付けられない身体になります。また、番のいる $\Omega$ は例え発情期を迎えて、自分のパートナーではない $\alpha$ のヒートを抑制することができます。 $\alpha$ のヒートを抑制する作用が“ヒート抑制剤”開発のキーとされていますが、この点はまだ未解明のままであります。



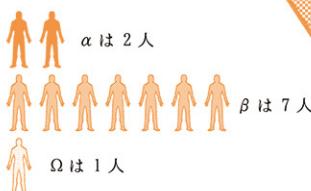
〈蜂〉

女王蜂は階級分化フェロモンによって自分以外の雌の卵巣の成熟を抑え、働き蜂として仕えさせている。

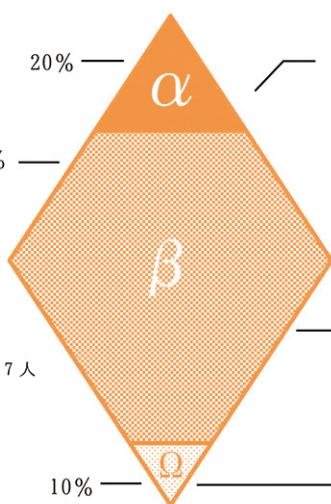
## \* 階級制度 \*

唯一、亀頭球を持つ男型がいて、 $\Omega$ に対しての生殖率が高い。他の他の身体的優位性は精液の量と階級分化フェロモン以外には立証されていないものの、世間的には $\alpha$ はあらゆる面において $\beta$ と $\Omega$ に勝ると考えられている。

〈10人いたら…〉



1クラス30人の場合、  
 $\alpha$ は6人、 $\beta$ は21人、  
 $\Omega$ は3人です。



人口が最も多く、基本的には $\alpha$ に使われる側であるが、近年は個人の努力や $\alpha$ との婚姻関係によって、 $\alpha$ と変わらない地位を築いている場合もある。

発情期があり、生殖率が低い事から $\alpha$ や $\beta$ よりも劣る存在とみなされている。発情抑制剤が開発されるまでは、家庭に入り外での仕事はしないことが望まれていた。

# \* α、β、Ω の生活 \*

学校



共学

“αクラス”という特進コースが存在します。これはβやΩも能力次第では入ることが可能で参加は任意です。αがβやΩよりも優れているという考え方から設置されたクラスで、通常よりも難易度の高い授業が行われています。

α校

入学はαのみ可能です。α校はあるものの、βのみ、Ωのみという学校はありません。

仕事



〈α〉

社長や重要なポジションの人間は殆どの場合がαです。家族経営也非常に多く、α同士のコネクションがとても強いので、αは出世がしやすい社会です。

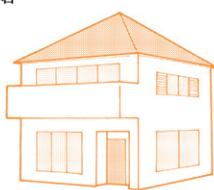
〈β〉

個人の能力によってはαと変わらないポストにいる例もありますが、基本的にはαに雇用される側です。

〈Ω〉

発情期抑制剤の普及により、雇用が増えました。Ωに対する偏見をなくす為、国からはΩの雇用に対して助成金が出ます。

結婚



α、β、Ωはそれぞれ同種間での結婚をするのが通例です。特にαはエリート意識が高く、αの血を汚さない・絶やさないことを重んじています。生まれてくる子供の確率はβ>α>Ωの順で遺伝する為、αはなるべくα同士との結婚を望みます。そうすることで特権階級はますますαに独占されるという背景もあります。その為、βやΩがαと結婚する場合は玉の輿に乗ったという感覚が一般的です。1960年頃からΩの人権運動が盛んになった事でβやΩ間、αやΩ間の結婚も増えてきてはいますが、それでもまだ異種間での結婚が普通とは言い難い現状です。

## Ωが自分を守るために義務づけられていること

- ①Ωは中学校から学校側に自らがΩであることの診断書を提出しなければならない。
- ②雇用主にもΩであることの診断書を提出しなければならない。
- ③発情期抑制剤の服用と、特効薬の常備。

## \* 発情期抑制剤とは？\*

1950年代に開発されたΩ専用の薬。αホルモンを主体とした成分でΩホルモンを抑制することで、性フェロモンの分泌を軽減させる働きをします。効き目には個人差があり、アレルギーやなかなか効かない体質のΩもいる為、新薬の誕生が期待されています。

〈ピル〉



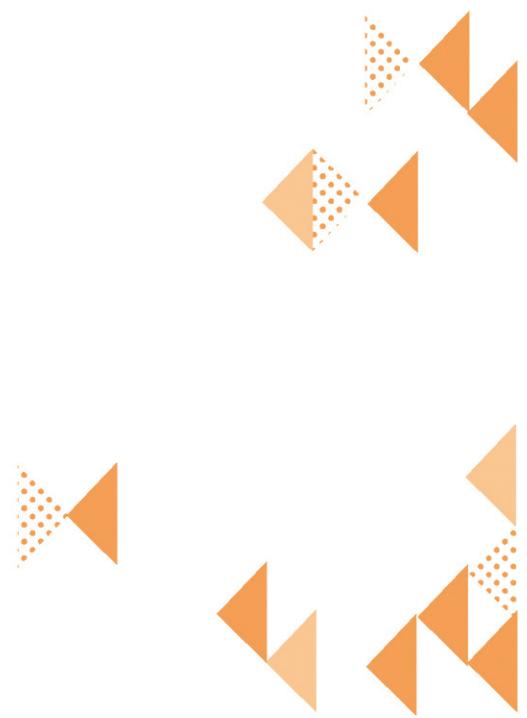
1日／1回、1粒を毎日服用。  
副作用はないと言われているが、個人差がある。

〈特効薬〉



発情期が起きててしまった場合に腕や足などに刺す。5分以内に発情は沈静化するが、副作用が強く、頭痛、吐き気、目眩などが起きる。学校、会社、駅など公共の施設には常備されている。

※どちらも個人が入手する場合には、必ず病院での処方が必要。



第  
1  
話

Tadaima, Okaeri.





んー?



らいしゅき♡



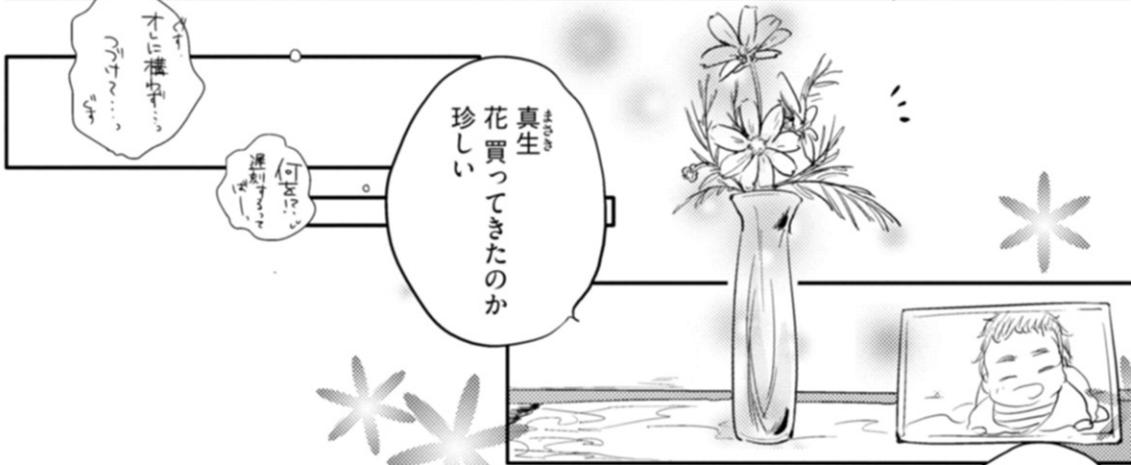
ありがとう

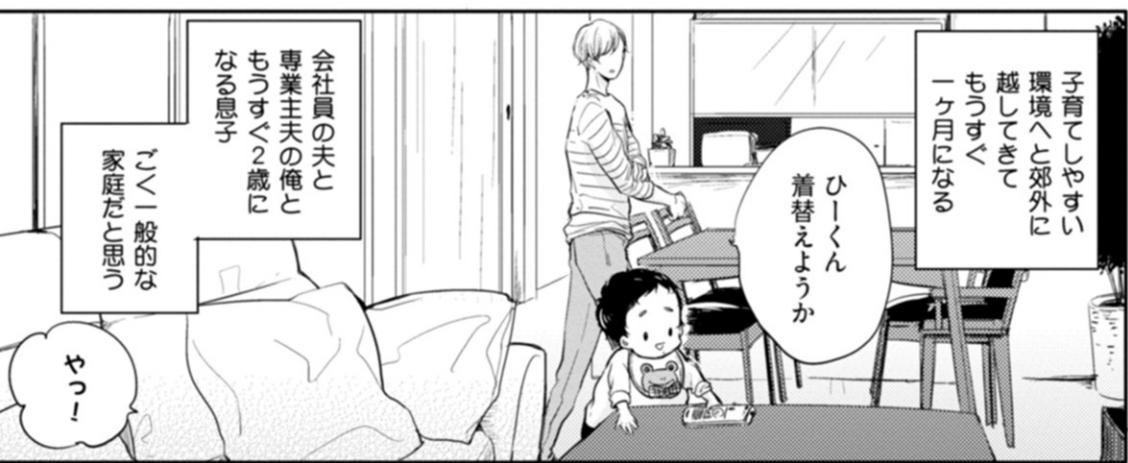
俺も輝ひかり  
大好き



ッ







さんは  
お父様が元大臣  
お兄様が現役議員と  
エリート一家で  
知られていますが

アルファ家系  
ですかねえ  
なんというか  
意外ですねえ

トゲトゲしい  
言い方

差別反対が叫ばれる  
今日でもまだ  
異種間結婚は珍しく  
偏見も少なくない

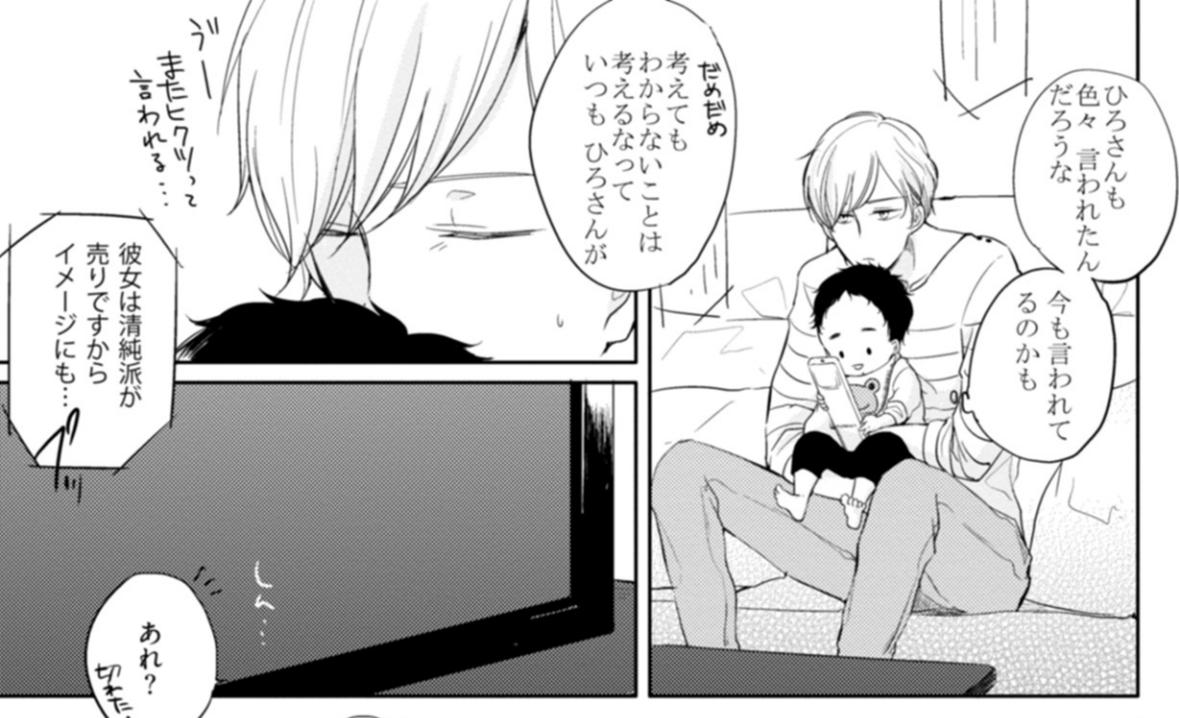
アルファの  
ひろさんと

わざら  
煩わしいなあ

オメガの俺

“普通”的家庭と  
少し違うのは

まあにこれ





オメガへの差別







